

保護者の利便性向上、保育の質向上のため 市内保育所全園で保育ICTを導入します。

○現状と課題

コロナ禍で子育てをする保護者にとって、市、園から出される情報の重要性は増加しています。特に勤務先との調整が必要な臨時休園に関する情報は、一斉連絡、個別連絡が迅速にできる環境づくりへの高いニーズがあります。

また、保育所においては、書類作成等の事務作業が保育士の大きな負担となっており、子ども一人ひとりの細やかな支援について園内で共有、検討する時間を取れない課題があります。退職理由の上位に仕事量の多さがあげられている現状もあります。

○目的

宗像市と宗像市保育協会は、それぞれの課題である「保護者の利便性向上（※1）」、「保育の質向上（※2）」を解決するために連携し、全ての認可保育所で保育ICTの導入を行います。また、導入後の活用を全園で進めていくため、ICT活用会議を立ち上げます。

※1 新型コロナウイルス、災害時の迅速な緊急連絡（一斉配信、個別連絡）が可能となり、保護者はスマホやパソコンから遅刻・欠席等の連絡ができるようになります。

※2 保育士の事務負担軽減によるミーティング時間の確保や子ども一人ひとりの状況を共有できる仕組みにより保育の質が向上します。また、業務負担軽減による定着率の向上が、保育の質の向上に寄与します。

○導入時期

令和3年8月

※導入時点ではまず保護者連絡機能の利用を始め、順次活用範囲を広げていきます。



○導入後活用支援

行政と民間の保育所が連携して導入・活用を進めるこの取り組みを、保育ICT業界シェア№1の「株式会社コドモン」がサポート（※3）します。

導入後の8月から開催するICT活用会議においては、導入後の活用支援や活用事例の共有、監査資料の見直しや削減、ペーパーレス化といった取り組みを、官民が連携し進めていきます。

※3 同社以外の保育ICTシステム導入園も含めてサポートします。

○特記事項

他市においても行政が所管の公立保育所において保育ICTの一括導入を進めることはありますが、宗像市の保育所15園（保育所型認定こども園含む）は全て民間の私立保育所であり、行政が主導し、民間保育所全園と協力して保育ICT導入・活用を進める取り組みは、全国的にも珍しく、県内では初めての事例です。今後他の自治体にも展開することが予想される先進的な取り組みです。

本取り組みの概要について

ステップ1 (R3.8~)

【事務室での活用】

- 保護者コミュニケーション機能
 - ・ 臨時休園等の緊急連絡★
 - ・ 欠席・遅刻連絡・個別連絡
- 登降園管理機能



ステップ2 (R4.4~)

【各クラスでの活用 (案)】

- 保育記録機能
 - ・ 日案、週案、月案
 - ・ 児童毎の記録
 - ・ 写真撮影、選択 etc.

【ICT活用会議の立ち上げ】

- 宗像市 & 宗像市保育協会 & 株式会社コドモンによる連携会議
- ・ 活用事例の共有
 - ・ R4.4からの取り組み内容検討
 - ・ 監査資料の見直しや削減、ペーパーレス化検討

